

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月16日

計画の名称	富士山の魅力を発揮した快適なまちづくり					重点配分対象の該当					
計画の期間	平成31年度～令和05年度(5年間)										
交付対象	富士宮市										
計画の目標	拠点となる施設や観光施設へのアクセスの向上を図るとともに、生活道路や市街地に流入している通過交通を計画路線へ転換させることで、渋滞緩和や安全安心な道路空間の確保を図る。										
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,485	A	2,485	B	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)										
	定量的指標の定義及び算定式										
	当初現況値		中間目標値		最終目標値						
1	計画に位置づけられた路線の交通量の増加 交通量の増加率 (各路線の増加した交通量の総台数/現況交通量の総台数) × 100 = 交通量増加率 (%)	H31	0%	H35	20%						
2	拠点となる施設や観光施設への移動時間の短縮 移動短縮率 (各路線の移動短縮時間の総和/現況移動時間の総和) × 100 = 移動短縮率 (%)		0%		20%						

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
											H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																		
備考																		
道路事業	A01-001	一般	富士宮市	直接	富士宮市	市町村 道	改築	2級市道平山見返線	現道拡幅 L=0.69km	富士宮市	■					98		—
	A01-002	一般	富士宮市	直接	富士宮市	市町村 道	改築	1級市道出水新梁線(ほか1 路線)	現道拡幅 L=1.3km	富士宮市	■	■	■	■	■	780		—
	A01-003	一般	富士宮市	直接	富士宮市	S街路	新設	都市計画道路路田中青木線	新設道路 L=0.28km	富士宮市	■	■	■	■	■	950		—
	A01-004	一般	富士宮市	直接	富士宮市	市町村 道	改築	2級市道下川原下高原線	現道拡幅 L=0.3km	富士宮市	■	■	■	■	■	172		—
	A01-005	一般	富士宮市	直接	富士宮市	市町村 道	改築	2級市道西山安居山線	現道拡幅 L=0.3km	富士宮市	■	■	■	■	■	259		—
	A01-006	一般	富士宮市	直接	富士宮市	市町村 道	改築	2級市道黒田貫戸線	現道拡幅 L=0.7km	富士宮市	■	■	■	■	■	226		—
										小計						2,485		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	88	137	171	102
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	88	137	171	102
前年度からの繰越額 (d)	0	27	62	126
支払済額 (e)	61	102	107	175
翌年度繰越額 (f)	27	62	126	53
うち未契約繰越額 (g)	0	0	63	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	27.03	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			関係地権者との調整に期間を要したため。	